

町自連 だより

「東日本大震災」支援「義援金」募集!

私たち町会自治会は「向こう三軒両隣」を基本理念とした「助け合いの地域組織」です。隣人が、災害にあって苦しんでいる今こそ、私たちができる事を実行しましょう。私たち「町自連」は八王子市と共に「義援金」を募集し、被災地域に届けます。町会・自治会・管理組合でまとめて頂き、地区連合会長からお届けする「郵便振替用紙」を使って送金して下さい。募集期間は、4月20日（水）を目途とします。



今こそ、見直される町会活動と高齢者の知恵

さる2月22日、いちようホールにて、町自連研修会開催
各自治会責任者が、事例発表とパネルディスカッションで意見の交換を

町自連の研修会がさる2月22日（火）いちようホール（大ホール）にて開かれました。今年のテーマは、「高齢者の知恵と元気で地域の活性化を進めよう」。まずは、立川市から「大山自治会」、八王子市から「唐松町会」、「めじろ台一丁目町会」、「館ヶ丘自治会」、「片倉台自治会」の5団体の事例発表。その後、今回のコーディネーターである明星大学人文学部渡

戸一郎教授の先導で、各団体代表のパネルディスカッションが行われました。

昨年来、NHKの「無縁社会」という番組に端を発し、高齢者の孤独死が話題になってきました。今までになく、人々の「横のつながり」が注目されています。その中にあり、町会自治会という存在もまた、再認識されているのが、現在なのです。また、今回の研修会のタイトルにもあるように、町会自治会活動を活性化させるには、高齢者の持っている知恵を眠らせずに活用していくというのが必須です。

このような「町会自治会活動の再認識」がされつつある昨今、当然のごとく、今回の研修会でも、熱い意見が飛び交い、また、参加者の多くの皆さんが、熱心にメモを取っておられました。他町会自治会の成功例、その陰にある苦難から、学ぶものを吸収していくとする皆さんが多

かったのです。皆さんが特に注目されたのは、大山自治会、佐藤良子会長の「自治会加入率100パーセント」「孤独死ゼロ」という事例発表、そして、片倉台自治会による片倉台福祉ネットワークの大森真知子事務局長のネットワーク立ち上げの成功例の事例発表でした。

大山自治会の佐藤良子会長は、女性であることで誹謗中傷された経験談を話されました。また、片倉台福祉ネットワークの大森真知子事務局長は「特別な能力や知識もない一主婦がこのような組織を立ち上げることができたのですから、皆さんもやれば必ずできるはずですよ」との言葉には、参加者の皆さんの多くが共感したようでした。

各パネリストの事例発表は、次ページでまとめてありますので、参考にして下さい。



町自連研修会 各団体の事例発表ルポ

各町会の成功事例を参考に
あなたの自治会も盛り上げていきましょう

自治会加入率 100%を達成

大山自治会（佐藤良子自治会長）

大山自治会は、佐藤会長の元、まれに見るといっていいほど統制が取れた、かつ活発な活動をしています。佐藤会長の事例発表の内容の豊富さにも、それが見て取れました。

大山自治会の特徴は、なんといっても、住民登録を義務化して自治会への加入率100%を達成していること。会員数約1200世帯の約3000人が加入しているのです。非常時に備え、家族構成を含んだ全住民名簿の登録、自転車も含む車両の登録、動物の飼育登録、高齢者に対して、いざという時の連絡先の登録。これらをすべて徹底しています。また、高齢者の皆さんに対する、「両隣の見守りネット」を作り、常に両隣を気



大山自治会長 佐藤良子さん

にする、さらには、東京電力、東京ガス、水道局などの企業と連携し、検診、集金、配達等に異常を感じたときの通報をお願いすることで、「孤独死ゼロ」を達成。7年めとなりました。孤独な高齢者への対策だけではなく、子供たちへの声かけ、見守り、ほめ育て、子育て中のママを多方面から支援するママさんサポートセンター、さらには自治会員同士が協力し合っている「自治会葬儀」の執行など、まるでひとつの企業体のようなシステムと、そして自治会長の熱い思いに「自治会の理想型」を見るようでした。最後に、佐藤さんのアイデアによる「終焉ノート」のプレゼントじゃんけん大会が。この終焉ノートとは、大山自治会特製で、自分が亡くなる前に周りに迷惑をかけないように、自らの持病や病气、遺産や相続の情報、葬儀の希望などを書き入れていくノートです。

このような画期的なアイデアで、「常に10年先を見ている自治会」として、今、大山自治会は、全国的にも注目されています。

めじろ台各町会と 地域内NPO法人が連携

めじろ台一丁目町会（五十野博俊会長）

京王めじろ台駅を中心に1〜4丁目が存在するめじろ台。こゝも日本の国勢と同じように、高齢化が進み、役員のなり手が



めじろ台一丁目町会五十野博さん

苦難を乗り越え 自治会を再結成

館ヶ丘自治会（中村晃会長）

館ヶ丘自治会は、UR団地（元公団住宅）のエリアにあります。自治会は諸事情の中、設立して解散を繰り返していました。がしかし、「高齢化」「孤独死」などの問題から、自治会の必要性が叫ばれ、昨年、再結成にいたったのです。中村会長によると、当初はゼロからのスタートでしたが、今現在それが350世帯にまで増えたそうです。

少なく、運営が難しくなりつつある状況でした。その一方で、4町会連絡協議会という組織があり、同時に各町会にある「むつみ会」、NPO法人「MMCクラブ」、自由な組織の「風の会」などの団体があります。お祭りなどは4町会が合同で開催していますが、その他の事項で、町会メンバーでは補いきれない部分を、「めじろ台安心ネット」「むつみクラブ」などに手伝ってもらうわけです。発表では、会長自作のホームページとともに町会での様々な行事がビジュアルとともに、披露されました。

また、URとの交渉を自治会が担当し、共益費の減額、ドア塗装の修復実施の確約などを取り付けました。このご時世の中、自治会が再結成されたことの評価は高く、今後の期待も高まっています。



館ヶ丘自治会長 中村晃さん

自治会活動賠償責任保険

八王子市町会自治会連合会
自治会活動賠償責任保険取扱い代理店

☎ 696-3001 三井住友海上代理店 担当 澤渡

その保険はあなたを守る保険ですか？
損保・生保のご相談はさわりFP事務所へ

（株）さわりFP事務所 www.dairitenhp.com/sawa-fp/

葬儀 齋場 仏壇

一家族が安心

ISO9001 審査登録・品質と経済性の

ファミリーライフクラブ

年中無休 24時間受付 ☎ 0120-650-650

八王子市大横町 13-20 セレモアつくば

NPO法人からまつを 設立、町会と提携

唐松町会（高瀬邦夫副会長）

長年町会活動として進めていた「学童クラブ」が指定管理者制度となるため、NPO法人からまつを設立することになりました。そして公設民営の学童クラブ運営を始めたのです。さらに、試行していた「配食サービス」も担当することになりました。

町会の目的は会員間の福利厚生、コミュニティ活動の高揚と地域の「安全、安心の確保」です。それに対して、NPOは「社会的企業」として、公共の補完

自治会の特別組織 片倉台福祉ネットワーク

片倉台福祉ネットワーク（大森眞知子事務局長）

自治会活動が活発な片倉台自治会で、高齢者、障害者、一人暮らし、病气やけがをしている方々の緊急の用事に対応する特別組織として平成12年にスタートしたのが、「片倉台福祉ネット



片倉台福祉ネットワーク
事務局長大森眞知子さん

的業務をこなす役割がありません。両者のいいところを取り、コラボレーションしている状況を、高瀬副会長は、綿密に発表しました。NPOからまつの現在ですが、学童保育所などの子育て事業部、高齢者の食事宅配などのおもいやり事業部、家事支援事業所などの施設管理事業部の三本柱となっています。



唐松町会副会長 高瀬邦夫さん

「ネットワーク」です。自治会館内に専用電話を設置しコーディネーターを配置、町内のボランティアを各家庭に派遣する組織ですが、10年を過ぎた今、全国でも注目される組織になりました。また、八王子市内の他町会からの視察もたくさん来る組織です。ホームページをみていただければわかるように、現在では、子供の子守りや庭の手入れ、話し相手までボランティア項目に含まれています。事務局長の大森さんは、素人だけで始めた組織でも、続ければきちんとしたものになる、継続こそ力であることを力説されていました。

個人の力が 大きな力になる

渡戸一郎 明星大学教授



コーディネーターの渡戸一郎教授

研修会の最後に、今回のコーディネーターである渡戸教授がしめくくってくださいました。
1、世間単位ではなく、個人単位の活動を重視
2、高齢者と若い世代のコラボレーションが大事

23年度から「町自連だより」が リニューアル予定！

八王子市は、東京都でいちばん面積の大きな市、そして55万人超という人口を抱え、24万世帯が存在する市でもあります。

その中で、八王子市町会自治会連合会には、加入自治会数23地区・320自治会、そして、12万世帯が属しています。その町自連が発行する「町自連だより」も、12万世帯に読まれているわけで、これは八王子市の約半分の世帯になります。

そして今、「無縁社会の見直し」のなか、高齢者や一人暮らしの

3、女性も自治会長になるなど、女性の位置も変化しつつある
4、企業との連携も視野におく
5、弱い専門システム（NPO、ボランティアシステム）を守り、自治会へ埋め込んでいく
以上のようなことが語られました。渡戸教授は「でも、すべてにおいてがんばりすぎないのも大切です」



熱心にメモを取る人も多かったとの言葉で締めくくられた、大盛況だった研修会の幕を閉じました。

しのかたがたを横のつながりで守ろうという機運が高まっています。全国的に自治会活動が目ざれているのです。

そこで、秋号から、予定としてこの町自連だよりをオールカラーにし、増ページしようという計画をすすめております。

読者の皆様、協賛各社の皆様、ぜひ、この「横のつながり」を大事にする八王子市の情報交換の場として、「町自連だより」にご協力をお願いいたします。

ご宴会・各種ご会合は八王子エルシィ
8名様～450名様まで。マイクロバス・駐車場100台完備

祝賀会、同窓会、謝恩会、記念パーティー等で
多くの皆さまにご利用いただいております。
ご法事・壇払い等、ご法要もご相談ください。

hachioji 和・洋・中の美味しいお料理と、細やかなおもてなし。
ELICY 八王子エルシィ ☎623-2111
.co.jp 八日町6-7(国道16号と甲州街道交差点・八日町4丁目バス停前・旧小杉会館)

ホームページ充実！
「八王子エルシィ」
と検索してください。

これからは、LED！ 現在お使いのHFP32Wランプと比較して、

CO₂削減に貢献。
(地球温暖化防止)



約半分の消費電力と
同等の設置間隔を実現、
1ランク下の電気料金で5倍長持ちの

LED 防犯灯 KLE-128S-17R [LEDEEMA] です。

安全な暮らしを支える防犯灯は **かがつう**へ

KI **かがつう**株式会社 ☎ 03-3833-2321 誓：平野

新任町会自治会長

対象の研修会

八王子市の自治会長は、1期で交代される人が65%を占めます。1期の任期では仕事を完遂することは難しいのが現実。そこで、いち早く覚えていただき、何期か会長職を続けていただきたいとの思いで、行政とともに企画しました。会長職とは、住民と行政の橋渡しの役割を担っています。それがよりスムーズにすすむよう、「向こう三軒両隣」の精神でお互いにフォローしていきけるようなシステム作りを皆さんで考えましょう。一同に会し、説明を受け質疑応答もできます。詳しい事は後日お知らせします。

＊日時 6月26日(日)

平成23年度

定期総会公告

平成23年度、第九回定期総会が左記の通り行われます。新旧町会長は積極的に参加していただくようお願いいたします。具体的には地区連合会長を通してご案内いたしますので、よろしくお願いたします。

＊日時 5月29日(日)

＊会場 八王子エルシィ

東京都の助成金

地域の底力再生事業助成

この制度は、町会自治会の活動を活性化するための助成金です。審査と報告書提出は必須ですが、町会単位では最高20万円まで、地区連合会では最高百万円までとなっています。詳しいことは、町自連の事務局か八王子市民活動推進部協働推進課に。

自治会活動

賠償責任保険申し込み

現在ご加入の保険期間は6月30日までとなっています。7月1日からの再加入と新規申し込みに関しては、5月中旬に22年度の町会、自治会長あてに発送いたします。

東京都町会連合会

(都町連)に加盟!

今年度事業計画の重点事業のひとつである「都町連」加盟が、7月13日に開催された定例三役会および定例役員会で承認され10月に開催された臨時総会で加盟が確認されました。都町連に加盟したことで、東京都の情報入手が容易になりました。さらには、他地区の行政と町会連合会の関係も明らかになってきてきています。

恩方地区連合会の

研修を終えて

昨年11月12日、13日の二日間を渡り、地元の施設「夕やけ小やけふれあいの里・おおるりの家」に、恩方地区31の町会、自治会長が参加し、研修会を実施しました。22年度の事業は、「価値ある町づくりに向けて」を主眼におき、「恩方地区が抱えている課題、問題点を共有し地域が解決に向けて一丸となって取り組むための土壌作り」を目的としています。

1日目は「市街化調整区域の町づくり」について、知識豊富な八王子市議会議員萩生田富治氏に講演をしていただきました。内容は、市街化調整区域についてはいろいろな規制があるのは事実ですが、他地域での成功事例を紹介しながら、「町づくりを進める際に重要なことは、住民の意見を町会自治会がくみ上げ、町自連を通して組織的な動きが必要」とのことでした。

2日目は、朝食前に上恩方、振宿、醍醐地区を視察し、交通手段もなく、高齢化、過疎化している現実を直視し、問題および課題を確認しました。さらに朝食後は、意見交換会を行いました。

編集後記

思えば、昨年の研修会は阪神神戸大震災経験者の瀬戸氏を招きました。そして、今年の研修会でも、「今こそ、横のつながりが大事なとき」ということを痛感させる事例発表ばかりでした。その後、未曾有の大震災。被災地ばかりでなく、日本中の人々の心がまさに揺れています。私たちが今できること、それは「向こう三軒両隣」の精神の復活ではないでしょうか？今回の研修会の事例発表、そのためにもご熟読いただければ幸いです。

- 主な内容は
- 1、交通手段の確保が必須
 - 2、周りが調整区域で住宅建設が規制されているため、人口減が増幅される
 - 3、町会の世帯数が少ないため、町会費負担が多くなる
 - 4、デジタル化への基盤整備の公的費用負担
 - 5、劣化による欠損道路の対応
 - 6、ゴミ収集車が入れない地域の対策
 - 7、獣害対策
 - 8、少子化により、行事への子ども参加が少ないため、行事の開催が危うい
- (恩方地区連合会長/今泉満政)

失敗しない畳選び「あなみず」検索
八王子片倉「タタミのあなみず」

ISO9001 取得認証工場



東京都知事内装許可 95946

〒192-0914 八王子市片倉町 325-9
TEL 042-637-3459 (代) FAX 042-637-9758
http://www.anamizu.co.jp

ご葬儀は 祭壇常設の

榎原斎場で

市住都公社の榎原斎場は祭壇が用意されているため、葬儀費用が大幅に節減できます。ご見学やご相談はいつでも、お気軽においでください。

八王子市榎原町1578-5 ☎ 620-3101